

# 電信通り商店街と上田精肉店

## 「いってみたい」道表彰

【札幌】「第4回いってみたい商店街&お店 北海道表彰」の表彰式が3日、道庁本庁舎で行われた。商店街部門の大賞に選ばれた帯広電信通り商店街振興組合（帯広市、

長谷渉理事長）、お店部門準大賞の上田精肉店（新得町、上田邦夫社長）などが高橋はるみ道知事から賞状を受け取った。

同表彰は、先進的な取り組みで地域経済の発展に寄与している商店街や個店に贈られる。

高橋知事は「先進的な取り組みで存在感を示した。1つのモデルとして道民に

賞状や盾を手にする

帯広電信通り商店街振興組合の高橋正章専務理事、長谷理事長、上田精肉店の上田専務（左から）

広く伝えていきたい」とあいさつ。長谷理事長は「10年、20年後も夢を持って、社会の担い手として地域貢献できる商店街を目指していきたい」、上田精肉店の上田隆史専務は「今後の励みになる。父の代から受け継いでいる商売を長く続けたい」と喜んだ。

電信通り商店街は空き店舗を借り上げ、障害者福祉施設の利用者が野菜や花苗を販売したり、高齢者が交流できる「MiniMini（ミニミニ）ひろば」を昨夏に開設。通りの街路灯をLED（発光ダイオード）灯に転換するなど、二酸化炭素排出量の削減にも取り組んでいる。

上田精肉店は1989年から、エゾシカ肉の取り扱いを開始。脂の乗る秋から冬までの期間に限定して肉を買い入れ、消費者の用途に合わせて100号から販売している。

(山下聡美)